取扱説明書

AE86 コンプリートゲージ

品番 **CG-86**

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。

この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

製品を他人へ譲る場合は、必ず
取扱説明書（本書）も付けてください。



説明書の一部内容は変更する場合がありますのでご了承ください。

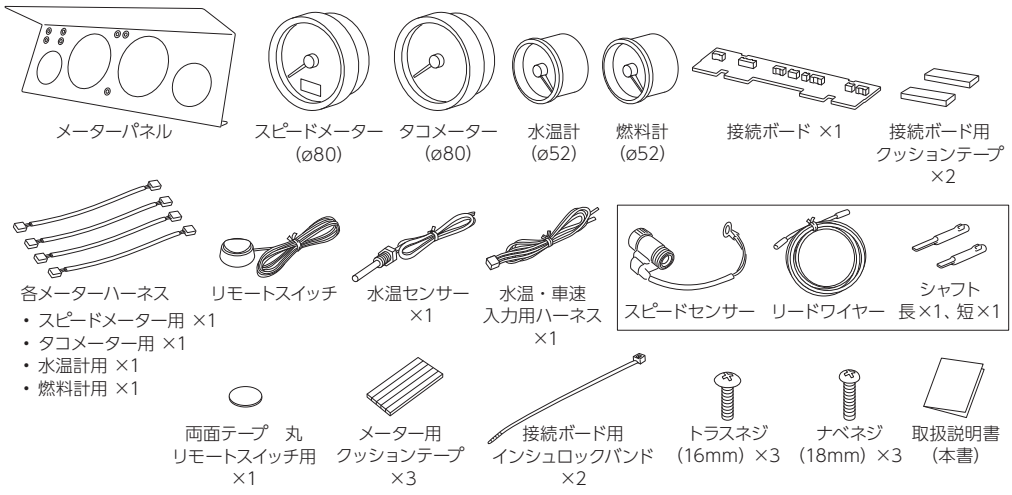
特長

本製品は、AE86の純正メーターを高精度で見やすいステッピングメーターに一式で交換でき積算距離を設定すれば継続表示も可能なオドメーターや各種警告灯も装備し、配線もカプラーオンで固定は穴開け不要な画期的なコンプリートキットです。

目 次

セット内容・警告・注意 *1~2*
各部の名称と表示範囲…… *2*
メーターの固定…… *2*
配線接続方法…… *3~4*
　基本配線…… *3*
　水温センサーの取付…… *3*
　スピードセンサーの取付 *4*
製品の装着…… *5~7*
各メーターについて…… *8~10*
　スピードメーター…… *8*
　オドメーター…… *9*
　燃料計…… *10*
　水温計…… *10*
　タコメーター…… *10*
基本動作…… *11*
操作方法…… *12*
故障かな？と思ったら…… *12*

内容物をご確認ください



※ 水温センサー用ホースジョイントは別途ご用意ください。

本製品は AE86 の日本仕様（JDM）のアナログ式（針式）メーター車専用で下記の車輌には装着できません。

× 純正デジタル式メーター車

× 海外仕様の輸入車

※ 配線加工・変換ハーネス等を使用されている場合も動作保証対象外となります。

必ずお読みの上で作業を行ってください。

- 装着には、専門知識が必要なため不安な方は専門工場などにご相談ください。
- 純正メーターは積算距離が記録されているため大切に保管してください。
- 製品点検・修理などの脱着作業・運賃などの費用は弊社では負担いたしません。
- 製品装着中の怪我や装着後の車両故障、交通違反など一切のトラブルに弊社は責任を負いません。

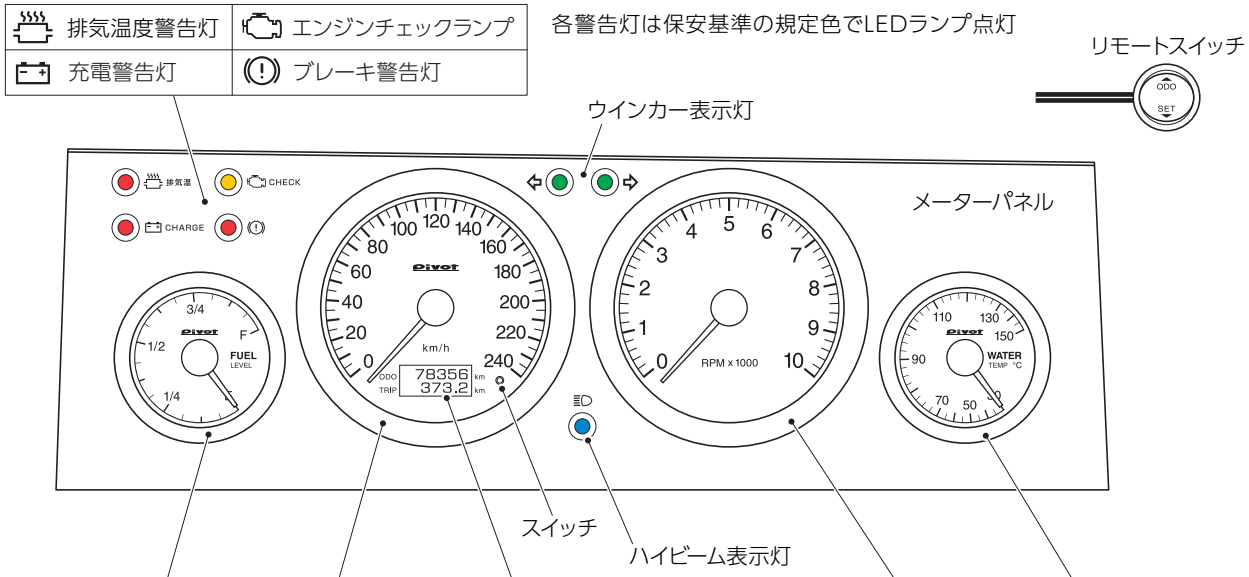
⚠ 警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- **●換気の悪い場所で作業しない**
  排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- **●コードの被ふくを傷付けない**
  ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輌破損の危険があります。
- **●運転中に操作をしない**
  運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- **●製品の固定、配線処理は確実に行う**
  製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠ 注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- **●DC12V車で使用する**
  本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- **●装着直後は製品に強い力を加えない**
  両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- **●薬品類は使用しない**
  ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。
  アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- **●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない**
  故障の原因となります。
- **●ネジ・部品は元の状態に戻す　●加工・分解および改造をしない**

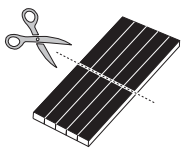
各部の名称と表示範囲



	燃料計	スピードメーター	オドメーター	トリップメーター	タコメーター	水温計
表示範囲	E～F	0～240 km/h	99万9999 kmまで	9999.9 kmまで	0～10000 rpm	30～150 ℃
イルミ（白色）	IG-ONで点灯	スモール連動で点灯	スモール連動で減光		スモール連動で点灯	IG-ONで点灯
表示調整	なし	速度調整機能付き	継続積算距離設定機能付き		なし	なし
ピーク値表示	なし	なし	なし		最高値	最高値

メーターの固定

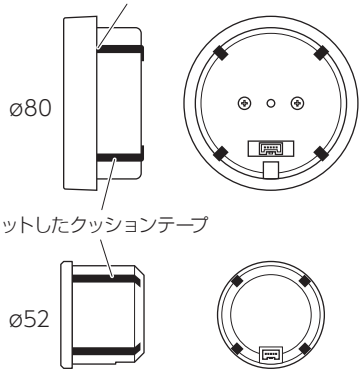
1 クッションテープを半分にカットする



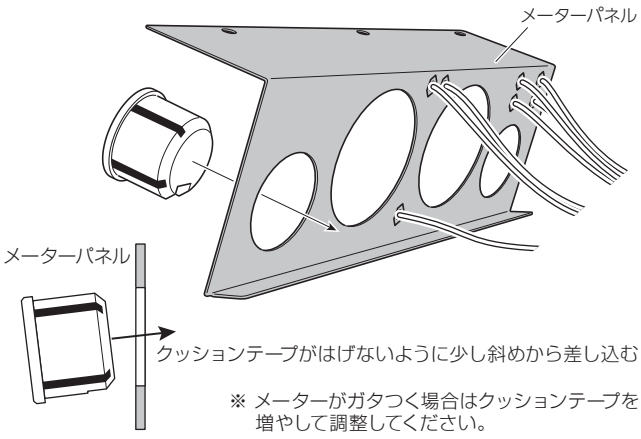
メーター用クッションテープ

2 各メーターの外周に4ヶ所貼る

隙間がないように貼る



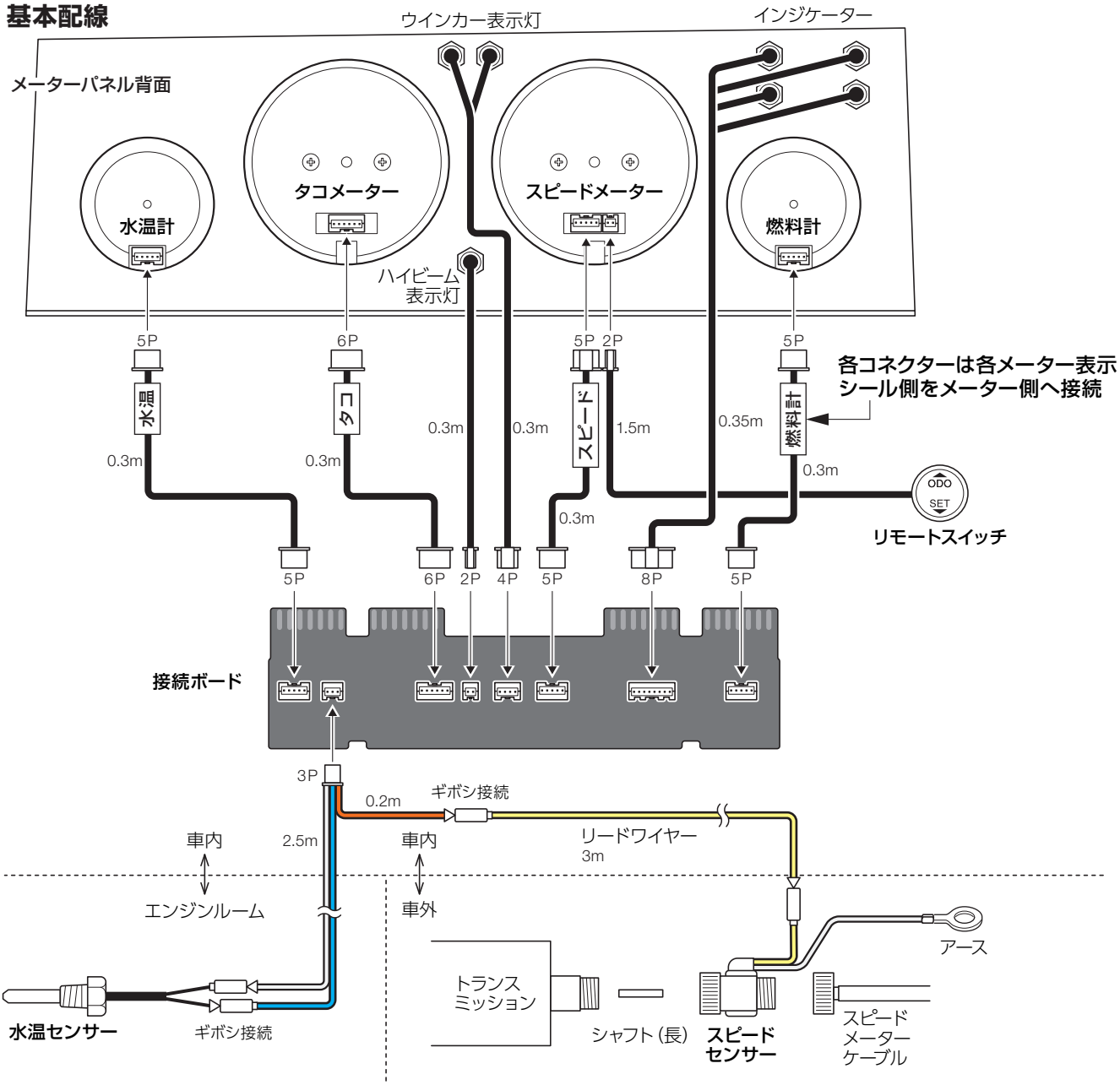
3 メーターパネルの穴に圧入状態で差し込む



※ メーターがガタつく場合はクッションテープを増やして調整してください。

配線接続方法　各コネクターの接続は、7ページの製品の装着「手順12」で行ってください。

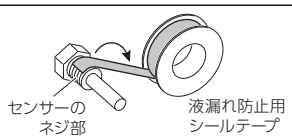
基本配線



水温センサーの取付

水温センサーは、ラジエーターのアッパーホースへホースジョイント（別売）を使用して取り付けます。

注意
- ホースジョイント（ネジサイズ 1/8PT、市販品）をご用意ください。
- ホースジョイントの取り付けは取扱説明書に従い、水漏れのないようにご注意ください。
- 火傷やケガの恐れがあるためエンジンや排気管（マフラー等）が冷えてから作業を行ってください。
- センサーのネジ部には必ず液漏れ防止用シールテープを巻いてください。



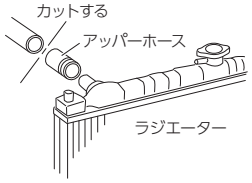
水温センサー取り付け位置



【取付手順】

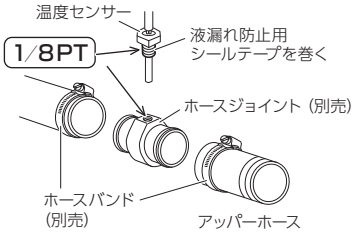
1 アッパーホースをカットする

ラジエーターのアッパーホースを適当なところでカットします。（冷却水が出ますので補充用クーラントをご用意ください。）



2 ホースジョイントとセンサーを取り付ける

カットしたアッパーホースへホースバンドを通し、ホースジョイントを割り込ませ、固定します。その後、水漏れのないようにセンサーを確実に取り付けます。



スピードセンサーの取付

スピードセンサーは、トランスミッションとスピードメーターケーブルの間に割り込ませる形で取り付けます。
※ 以下の説明は、純正のT50トランスミッション装着車を対象としています。

取り付け位置（トランスミッション後部右側）



⚠ 注意

- スピードセンサーは、振動で動いたり外れたりしないようにしっかりと固定してください。
- 火傷やケガの恐れがあるためエンジンや排気管（マフラー等）が冷えてから作業を行ってください。
- 車体をジャッキアップして作業する場合は、必ずリジッドラック（ウマ）を使用し、安全を確保してください。
- 車輌側の可動部部分や排気管のような高熱部分に接触しないように配線してください。
- リードワイヤーはブラブラしないように、車輌ハーネス等にビニールテープで固定してください。
- スピードセンサーを同時に複数取り付けないでください。故障の原因になります。
- スピードメーターケーブルはセンサートラブル防止上、必ず装着してください。

【取付手順】

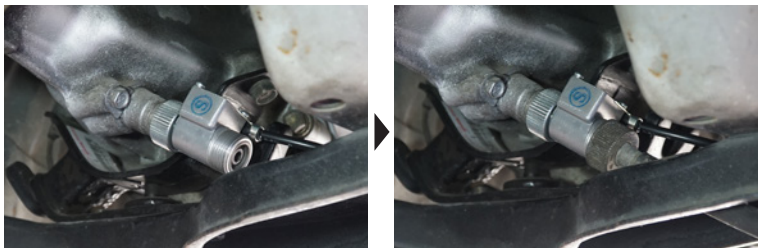
1 車輌のスピードメーターケーブルをトランスミッション側で取り外す。



2 トランスミッション側にシャフト（長）を差し込む。
※ シャフト（短）は使用しません。



3 トランスミッションとスピードメーターケーブルの間にスピードセンサーを取り付ける。



⚠ 注意
締め付けトルク：7.8 ～ 11.7 N・m
スピードセンサー本体とスピードメーターケーブルの締め付けトルクは上記を厳守してください。過大な力を加えると故障につながります。

4 スピードセンサー本体のアース端子を図の位置に接続する。
※ プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。



5 スピードセンサーの黄色コードとリードワイヤーをギボシ接続し、ビニールテープで車輌ハーネス等に固定する。



6 リードワイヤーをメーター裏まで引き込み、オレンジコードとギボシ接続する。
（基本配線 ⇒ 本書３ページ）

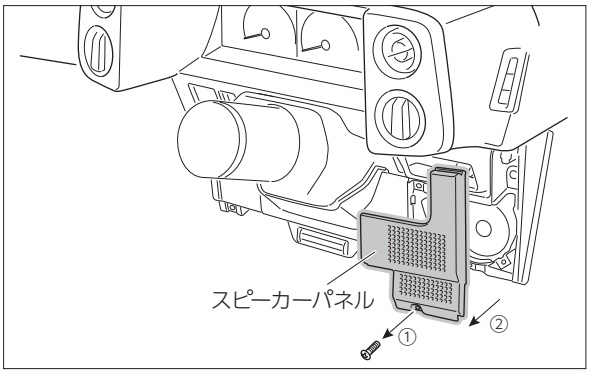
【取り付け完了後の点検】

① 配線や取り付けに異常がないことを点検すること。
② 特に車輌ハーネス、リードワイヤーを無理に押したり、引っ張ったり、噛みこんだりしていないか点検すること。
また、クランプおよびバンドの外れ、部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

製品の装着

1. ステアリングホイールを取り外す

2. スピーカーパネルを取り外す

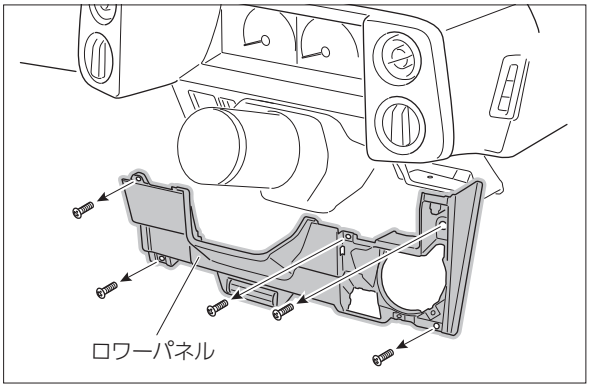


① ネジ（1本）を外す。

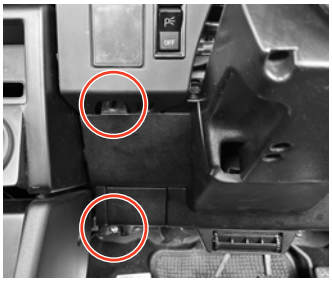


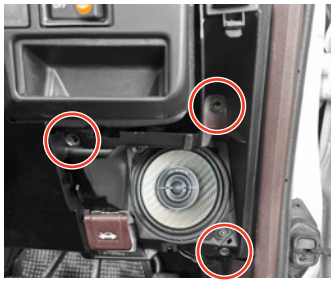
② パネルの下側を手前へ引き出し、上部のツメを外しパネルを抜き取る。

3. ロワーパネルを取り外す

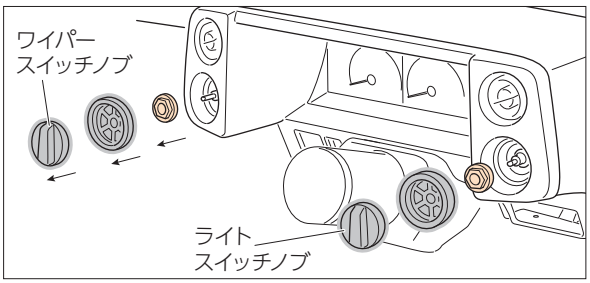


① 図のボルト（2本）とネジ（3本）を外す。
② スピーカーのコネクターを外す。
③ ロワーパネルを取り外す。



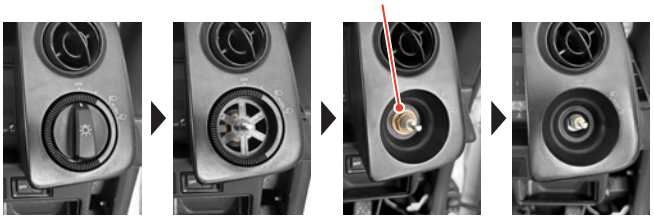


4. ライトスイッチノブやワイパースイッチノブ等を取り外す

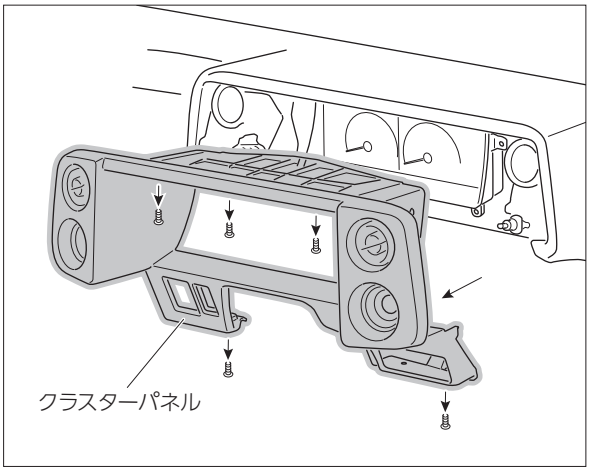


① 図のスイッチノブ類を手前へ引き抜く。

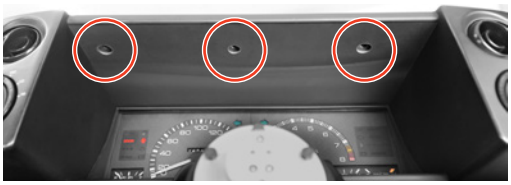
② ナットを取り外す。
（17mm ディープソケットが必要）



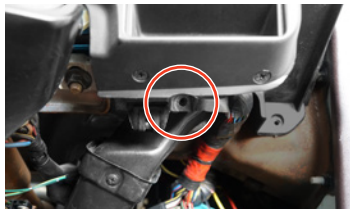
5. クラスターパネルを取り外す



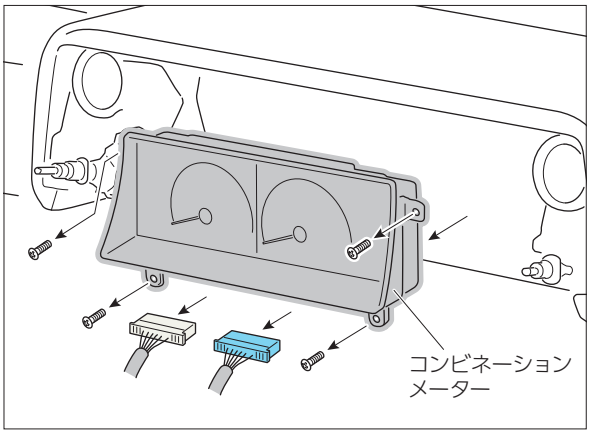
① 図のネジ（5本）を外す。
② スイッチ類のコネクターを抜き、パネルを手前に引き抜く。



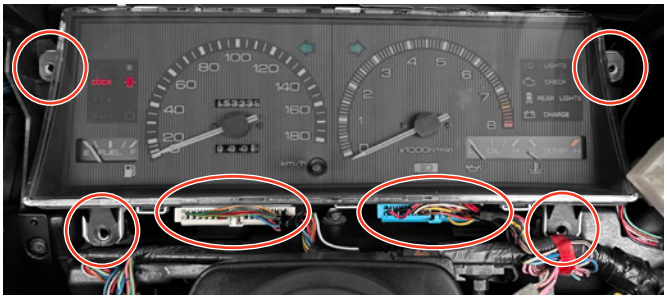




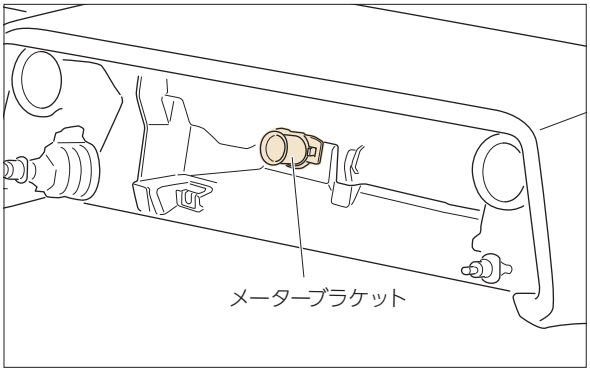
6. コンビネーションメーターを取り外す



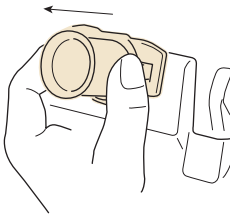
① メーター下側のコネクター（2カ所）を抜く。
② 図のネジ（4本）を外す。
③ メーターを手前に引き抜く。
※ 取り外した純正のネジ（4本）は使用しませんので大切に保管してください。



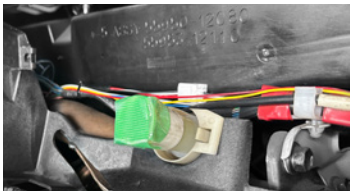
7. メーター裏の処理をする



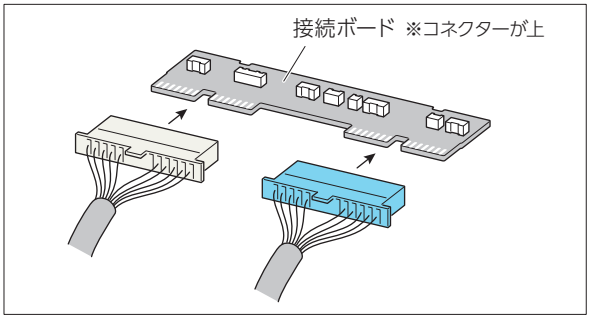
① メーターブラケットを
手前に引く。

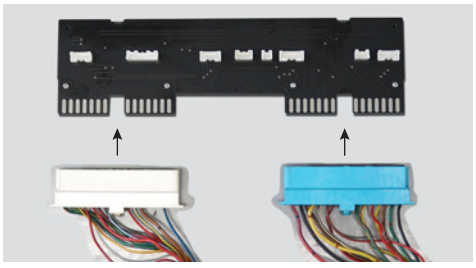


② 図のように養生テープ等で
穴をふさぐ。

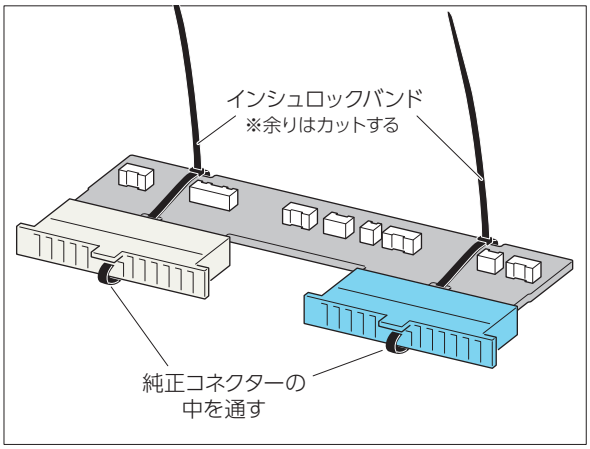


8. 接続ボードへ純正コネクターを差し込む





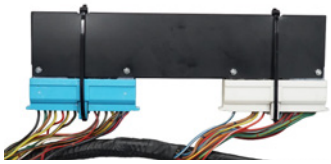
9. 接続ボードと純正コネクターをインシュロックバンドで共締めする



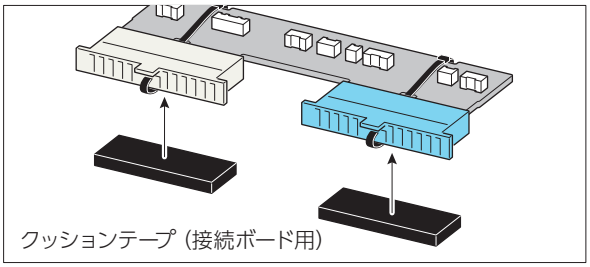
コネクター抜け防止のため、付属のインシュロックバンドを使って
図のように固定する。※余りはカットしてください。

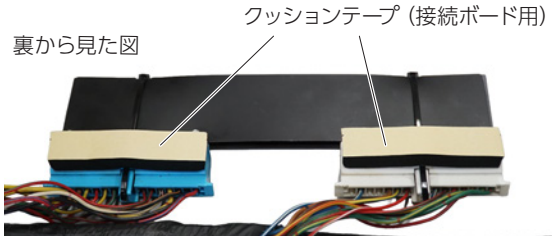


裏から見た図

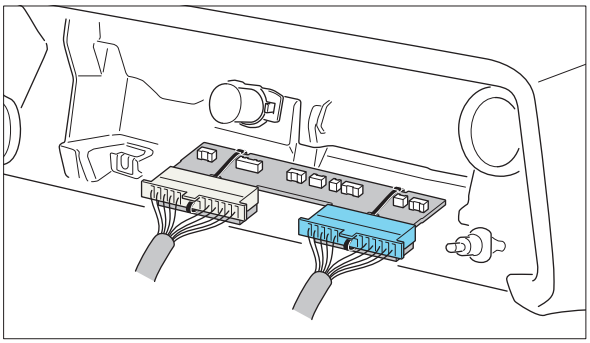


10. 純正コネクターの裏側に付属のクッションテープ（接続ボード用）を貼る

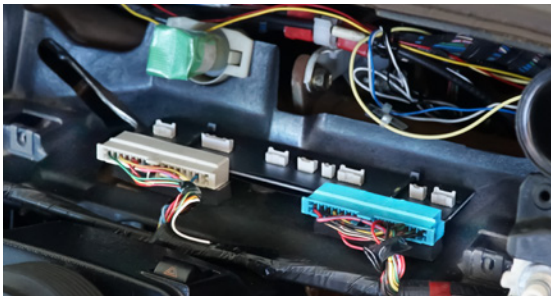




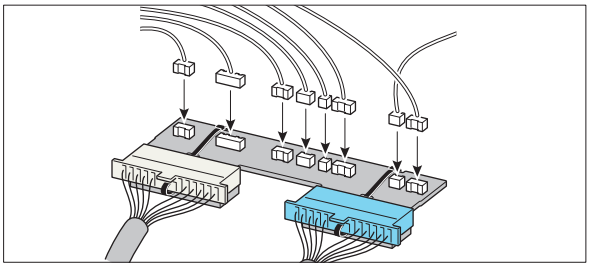
11. 接続ボードを車輌側へ固定する



クッションテープ（接続ボード用）の剥離紙をはがし、図の位置へ固定する。

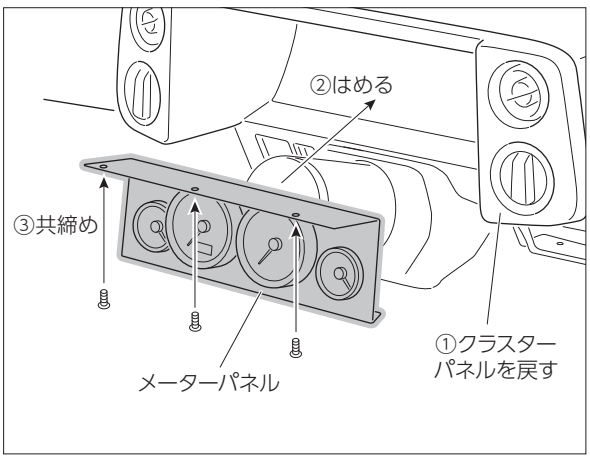


12. 接続ボードと各メーターへ各コネクターを差し込む



接続方法は、本書３ページの「配線接続方法」をご覧ください。

13. 本製品のメーターパネルを取り付ける



① クラスターパネルを戻す。
② メーターパネルをはめる。
③ クラスターパネルとメーターパネルを付属のトラスネジ（３本）
もしくはナベネジ（３本）で共締めする。
※ 取り外した純正のネジ（３本）は使用しませんので大切に保管してください。



14. 外した純正パーツを元に戻す

純正コンビネーションメーター以外のパーツを元に戻す。
※ 純正コンビネーションメーターは大切に保管してください。

各メーターについて

スピードメーター

本製品は出荷時に「パルス４」に設定されています。
通常は、純正メーターと同じ速度表示となるため、車速パルス設定は不要です。

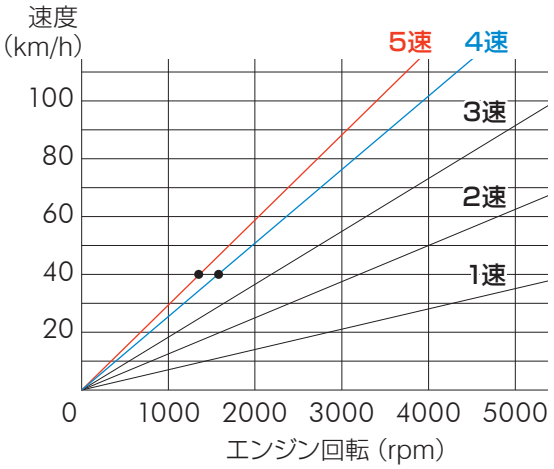
⚠ 安全のためテスト走行は安全な場所で、運転者とは別に表示を確認する方を含む２名で行ってください。

【速度表示確認方法①】

速度表示はギヤポジションとエンジン回転数から簡易的な確認ができます。

例　40km/h時＝ 5速で1350rpm　4速で1600rpm

（タイヤ外径、ギヤ比などは純正状態の場合）



【速度表示確認方法②】

スマートフォンのGPS速度計アプリ等を利用し確認する。

【正常表示範囲】

本製品が40km/h時＝GPS速度計アプリが31 ～ 44km/h

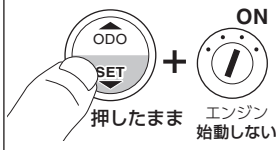
※ ライト点灯忘れ防止のためイルミはスモールOFF時消灯、ON時は点灯します。

【速度表示調整】　通常は調整不要です

タイヤ外径やギヤ比の変更で速度表示を正常にする場合のみ使用します。

1　設定モードへ入る

キー OFFの状態で
SETスイッチを押したまま
キースイッチをONにする





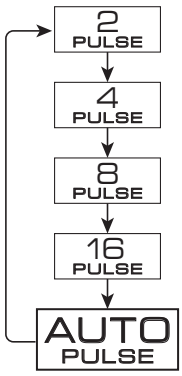
現在のパルス数が
点滅で表示される
(出荷時は4)

上記表示になるまで
SETスイッチを
離さないでください。

2　パルス数の変更

「AUTO PULSE」の
表示になるまで
SETスイッチを押して
表示を切り替える





3　AUTO PULSE設定へ

ODOスイッチを押すと
「SET」と３秒表示された後
「AUTO PULSE」の設定に
入る





3秒後、
下記表示へ



点滅

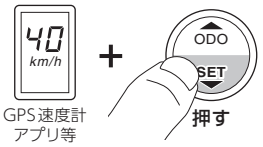
4　AUTO PULSEの設定

エンジンを始動し、走行開始



製品の
スピードメーターは
0km/h表示

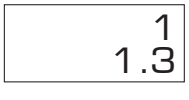
GPS速度計アプリ等で速度を計測し
40km/hの表示を維持した状態で
SETスイッチを押す



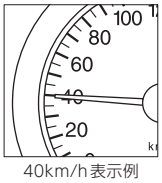
GPS速度計
アプリ等



3秒後、通常表示へ戻り
スピード表示を開始



設定完了



40km/h表示例

オドメーター

⚠ 本オドメーターは積算距離の改ざん防止上、走行開始後50kmを超えると設定変更はできません。
（積算距離設定、0kmから使用する場合のいずれも対象）

ご使用方法に応じて、下記から該当する項目をご確認ください。

① 純正メーターの積算距離を継続して使用する場合・・・ 【オドメーターの積算距離設定】へ

② 積算距離を0kmから使用する場合・・・ 車輌の実際の積算距離と本製品の積算距離の表示が異なるため、ディーラーや認証工場へ依頼し、積算距離の変更を「点検記録簿」へ記録してください。
※ 記載変更の手続きを行わない場合、車検を受けられない場合や売却時にメーター改ざん車として扱われるおそれがあります。

③ 積算距離が設定済みの本製品を再利用する場合・・・ 一度設定すると改ざん防止上変更できませんので、②と同様に積算距離の変更を「点検記録簿」へ記録してください。

⚠ 積算距離変更に伴う一切のトラブルに弊社は責任を負いません。

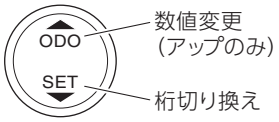
【オドメーターの積算距離設定】

⚠ 実際の走行距離より少ない積算距離を設定しないでください。

⚠ 設定後、50km以上走行すると、改ざん防止のため再設定はできません。

設定中の基本操作

オドメーターの設定は主にリモートスイッチから行います。

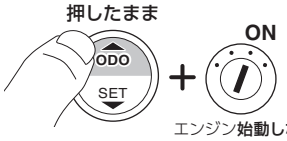


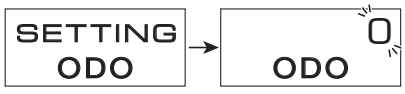
オドメーター表示可能距離：0 ～ 99万9999km（1km単位）

設定手順

1 設定モードへ入る

キー OFFの状態で
ODOスイッチを押したまま
キースイッチをONにする





上記表示になるまで
ODOスイッチを
離さないでください。

2 数値の変更

ODOスイッチを押して
数値を変更する





押すごとに0→1→2…と
数値が変わり、
9の次は0に戻ります。

3 桁の移動

SETスイッチを押して
次の桁へ移動する





4 各桁の設定

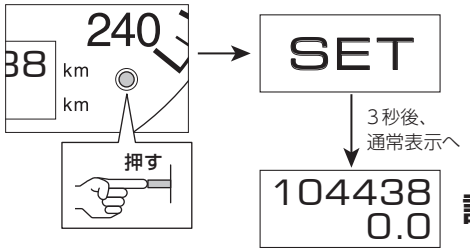
2と3の作業を
最後の桁まで
同様に行う



十万の位で
SETスイッチを押すと
一の位に戻ります

5 確定

メーター本体のスイッチを押すと
「SET」と表示され数値が確定します



設定完了

間違えて確定してしまった場合は、再度「手順1」から
やり直してください。

**確定してから50km以上走行すると
再設定できなくなりますのでご注意ください。**

燃料計

本燃料計は純正燃料センサーの計測量を純正比3.5倍の広角に見やすく表示します。

【使用方法】

給油時はエンジン停止

給油時はキースイッチOFFで給油後にエンジン始動で正常値表示します。

走行状態による表示ズレ

走行状態でのタンク内の燃料の揺れに伴う表示ズレは純正燃料計と同様に生じ広角なため目立つ場合があります。

本燃料計表示は純正燃料計と同じ特性を広角表示するため下記の症状が目立つ場合がありますが故障ではありません。

症 状	原 因	対 処
満タン時に針がFまで動かない	燃料センサーの個体差や経年変化または故障	①満タン時の針位置をFとして使用する ②燃料センサーを新品交換する
走行中に針が多少動く	揺れにより燃料の位置が変化	①平均的な位置で判断する
給油後正常値まで針の動きが遅い	キースイッチONで給油すると、正常値表示まで1分程度の時間がかかります	①給油時はキースイッチOFFで給油後にONにする ②すぐに確認する時は、キースイッチをOFFにしてからONにする

【燃料切れによるトラブルを防止する使用方法】

- **最初は1/2付近、次回は1/4付近などを目安に早めに給油をしてください。**
- **あわせて、燃費から計算した走行距離も確認してください。**
  例　燃費6km/L × 25L ＝ 約150kmで給油
- **以降も早め（1/4以上）に給油をしてください。**

水温計

ラジエーターのアッパーホース内の冷却水の温度を表示し、エンジン停止時はそれまでのピーク値（最高温度）を一定時間表示します。

本水温計は付属の専用センサーを別売ホースジョイントと装着し表示します。

※ センサー装着後は水漏れがないことをご確認ください。

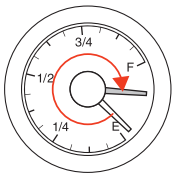
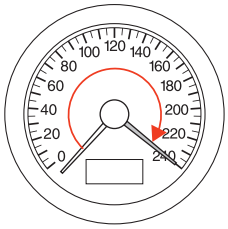
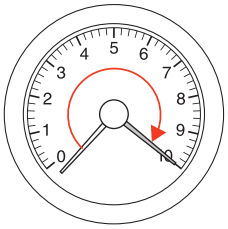
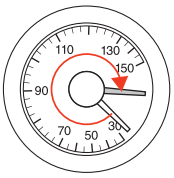
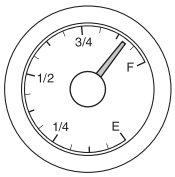
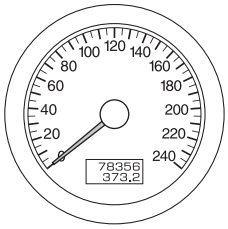
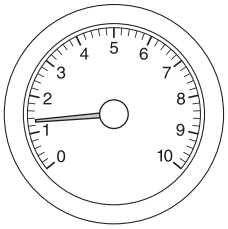
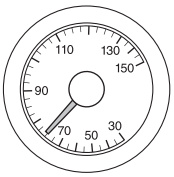
タコメーター

純正の回転信号に応じたエンジン回転を表示し、エンジン停止時はそれまでのピーク値（最高回転数）を一定時間表示します。

※ 特殊な点火方式では正常に動作しない場合があります。
※ ライト点灯忘れ防止のためイルミはスモールOFF時消灯、ON時は点灯します。

基本動作

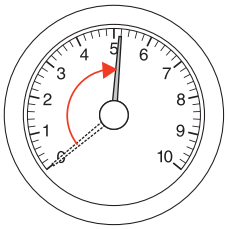
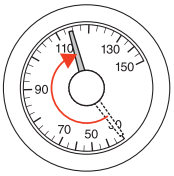
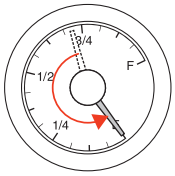
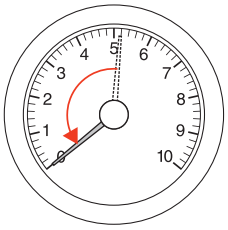
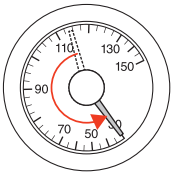
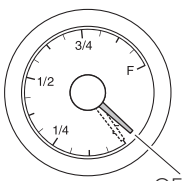
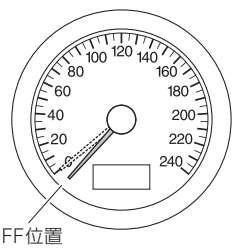
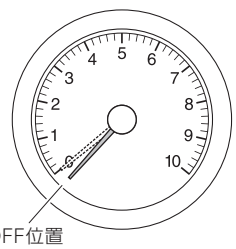
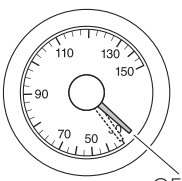
エンジン始動

燃料計	スピードメーター	タコメーター	水温計
オープニング動作	オープニング動作	オープニング動作	オープニング動作
			
データ表示	データ表示	データ表示	データ表示
			

※1 コネクター装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。

※2 メーターパネルの各インジケーターは、キーONで点灯し、エンジン始動後に異常がなければ消灯します。

エンジン停止

燃料計	スピードメーター	タコメーター	水温計
ピーク表示なし	ピーク表示なし	ピーク値表示 ※5	ピーク値表示
			
針がE (EMPTY) の位置へ移動		針が0の位置へ移動	針が30℃の位置へ移動
			
イルミ消灯	スモールONの場合 イルミ消灯	イルミ消灯	イルミ消灯
OFF位置へ移動	OFF位置へ移動	OFF位置へ移動	OFF位置へ移動
 OFF位置	 OFF位置	 OFF位置	 OFF位置

※3 針が一番下に下がった後にピーク値を数秒間表示します。

※4 ピーク値はエンジン始動後の最高値です。

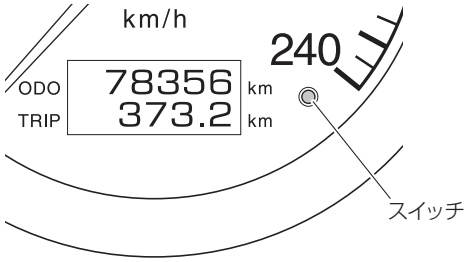
※5 タコメーターはスモールOFF時でもピーク値表示中はイルミが点灯します。

※6 OFF位置後に再始動するとピーク値はリセットされます。

操作方法

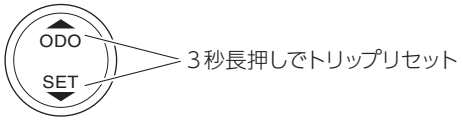
トリップメーター（区間走行距離計）のリセット方法

スピードメーターのスイッチを３秒長押しでリセットされます



リモートスイッチでリセットする場合

ODO、SETどちらのスイッチも３秒長押しでトリップがリセットされます

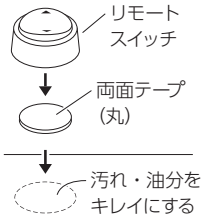


● **リモートスイッチを外す場合**

リモートスイッチは、オドメーターの設定と車速パルス設定が完了したら外して問題ありません。
外した場合、トリップメーターのリセットはスピードメーターのスイッチから行ってください。（上記参照）

● **リモートスイッチを固定する場合**

付属の両面テープで装着してください。



メーター入れ換えについて

燃料計と水温計を他のメーター（油圧計や油温計）と入れ換えたい場合は、GT GAUGE-52のラインナップからお選びください。なお、燃料計は公道走行時に必要なため移設してご使用ください。

車速信号の分岐システム

純正メーターと同様の車速信号を本製品から分岐出力するため、ECUなどの制御に影響を与えません。

故障かな?と思ったら

症　状	原　因	対　策
メーターの電源が入らない。	各コネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
走行中にスピードメーターが0から動かない。	接続ボードと3Pコネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
	3Pコネクターのオレンジコードとリードワイヤーの接続不良。	
水温が30℃から上がらない。	接続ボードと3Pコネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
	3Pコネクターの青コードまたは白コードと水温センサーの接続不良。	
燃料計について	10ページ参照	

※ 弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※ 意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※ PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL 0263-46-5901（代）